

事業所名

日付

評価機関名 特定非営利活動法人  
高齢者・障害者生活支援センター

評価調査員 ①   
②

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

- ・事業主が地元の方で地域との交流を大切にし、町内の活動参加等積極的に行っている。
- ・家族との交流に工夫がみられ、職員とのコミュニケーションが良くとれている。
- ・入居者同士の和、職員同士の和を大切にされた日常生活が送られている。
- ・質の向上に家族アンケート、ヒヤリハット、意見箱を上手に活用し職員全員、代表者、管理者、と意見交換し技術、知識向上に努めている様子が訪問中にも伺えた。
- ・広報誌を年4回発行。紙面の中を見て町内会清掃活動に自由に参加し、自分の役割が出来た満足な写真の笑顔は誇りに思える。

特に改善の余地があると思われる点  
特にありません。

Ⅲ ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	

記述項目

・楽しく、穏やかな日々を、家庭的雰囲気の中で、その人らしくを大切に。  
・家族に安心してもらえるケアを目指している。

記述項目

生活歴を大切にして、その人らしい日常生活が送れることを願いながら支援している。プライバシーの保護にもつながり不安のない生活に心掛けている。

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	

記述項目

個人の生活歴、職歴を大切に暮らした暮らしに心掛け、家庭から持込んだ馴染みの家具などにより落ち着いた環境作りをしている。

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	

Ⅲ ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

記述項目

腎臓食について栄養指導を受けたり栄養管理の面から入居者の体調管理にも努力している。